

稲雲

第 33 号

発行
広報委員会

目次

- 其の一 二〇〇九年 B 総会報告
- 其の二 新入部員紹介
- 其の三 初漕ぎのご案内
- 其の四 OB 会事務局からのお知らせ

〇〇〇九年 B 総会報告

十一月三日(二〇〇九年)OB 総会が開催され次の五議案全てが決議されました。

一、各委員会活動報告

創立五十周年記念事業委員会

【ミッション】 出来るだけ多くのOBの参加を実現し、将来的に当OB会を繁栄させる五十年目の再スタートとする。

【アクションプラン】

- ・ 連絡網の充実
- ・ OB会の組織活動の緊密化
- ・ メンバーの役割分担とチーム作り
- ・ 式典計画の作成(会場、料理、イベント等)
- ・ 記念品、記念誌の発行(名簿作成含む)
- ・ 招待者の招聘
- ・ 予算書の作成と会費の徴収(寄付も含め)

【スケジュール】

式典日時 2011年(平成23年)11月3日(祝)

式典場所 リーガロイヤルホテル早稲田

ビジョン委員会

【目的(仮置)】

- ・ 理工ポーター部の持続的発展をめざした価値観の形成
- ・ 大勢の部員が集い、心身共に成長が感じられる
- ・ OB会の役割と発展のための基本的考え方
- ・ 現役とOBおよびOB間のコミュニケーションの密度をあげる。

【活動方針】

現役ビジョンとOB会ビジョンは当面別々に策定していく。

【活動内容】

- ・ ビジョン作成のベースとしてOBワークショップを実施(二月 十八名参加)
- ・ 現役ビジョン 1次案作成(四月)
- ・ OB会ビジョン素材案説明(四月OB会特定メンバー)

【今後の計画】

- 1) 現役ビジョン
 - ・ 現在はクラブ存続の危機でクラゲの考え方の模索もなされており、これも反映して現実からの乖離を避け

て検討を進める

- ・ 現役・院生のビジョン策定への参画を進める
- ・ ビジョン議論メンバーをこれまでの実質議論参加の4名から増やしていく

2) OB会ビジョン

学年幹事等多数の中堅に参加いただき活動的であったりあるOB会へ導くビジョンの策定を目指す

3) OB会活性化活動の一環としての位置付け

・ OB会費支払いメンバー拡大活動や催事委員会活動とも連携し、ビジョン協議を題材にOB会活性化の一助としていきたい。

会則整備委員会

【目的】

OB及び現役の活性化&会運営の円滑化

【ミッション】

現行規約・内規の見直しと必要な規約・行動則の制定を行う。

【活動経過】

- 1) 現行OB規約の逐条討議
- 2) 他クラブ、他機関の会則等調査
- 3) 規約見直し案策定と審議とり纏め総会上程案策定
- 4) 役員会運営規則の制定
- 5) 行動則制定提案 3件
 - ・ 卒業年幹事の細目規定(任務、任期、選任方法)
 - ・ 会計のうち、金銭決済基準に関する規定
 - ・ 資産管理に関する規定

【活動成果】

- 1) OB規約の見直しについて、改革委員会審議を経て、OB総会に上程
- 2) 役員会運営規則の制定について、三月二十八日改革委員会総会で規則制定承認 1
- 3) 行動則制定提案
 - ・ 卒業年幹事についてはOB会規約で規定することとなった
 - ・ 会計のうち、金銭決済基準に関する規定については十月九日制定

【来年度の予定】

- 1) 行動則制定提案と制定支援を主たる活動とする。
- 2) OB規約のフォローを行う
 - ・ 継続課題「ビジョンとの関連付け規定」の検討
 - ・ 改定項目の状況を注視し、結果によっては再度改定の検討
- 3) 今改定検討時出された意見の整理・仕分け、規約改定又は運営規則制定の提案

1 この規則は、OB会運営の為の細部ルール集です。規約に規定がない事項を役員会が都度定めます。行動則の受け皿になります。

2 OB規約(現行「改定前」と役員会運営規則は、OB会ホームページの会員専用ページに掲載します。

環境改善委員会

(1) 昨年度のOB総会時点の状況

創部の当初から数十年存在した部室と周辺トレーニングスペースが、いつの間にか無くなってしまい現役部員減少の大きな要因になっている。

(2) 改革委員会スタート後の調査

部室廃止の経緯

大学の大方針として理工学部を3つの学院に改組するにあたり、サークル室を戸山校舎に集約移転しその跡を教室に改造した。(それでも教室は不足)

現状トレーニングスペース移転の経緯

理工学術院への移行時、理工事務局から地下鉄の地上への出入り口予定地(新宿よりの奥のカルバート部)を雨の凌げるトレーニング場として許可されていたが、地下鉄運用に合わせ、SS号館地下1階の渡り廊下下に移転させられた。この場所は降雨時、授業の合間時はトレーニングが出来ない。

(3) 大学側との交渉経緯

ポーター部より「部室喪失の訴えと代替案折衝」を申し入れ

・ 本部側は申し入れに対し、理工学部内への部室復活は、「大学方針に反する。」の一点張りであった。

・ 本部側より学校として取組み始めた「健康キャンパス構想」を目指したらどうか?との提案有。

(4) 大学本部コメントに関する活動

・ 健康キャンパス構想に関する調査を高見に替わり原川・塚田副会長が調査・交渉を継続

【来年度の活動計画】

- ・ 今後も「部室」のニーズとその交渉方針を、大河内先生、現役、そしてOBの3者で継続的に話し合う
- ・ 理工学術院へのアクセスを辛抱強く探る

現役支援委員会

現役支援活動は当委員会のみでなく、高見会長、塚田、原川、澤田の3副会長、他の委員会と一体に行われた。報告は以下の3つの期間に分けて行う。

- 【第一期(08/12~09/05)】
- ・ 現役支援委員会挙げる新人勧誘活動
 - ・ 現役支援委員会活動計画作成
 - ・ 現役の現状把握

・ 現役の現状に対する認識の共有のための現役、監督・コーチ陣との意見交換会

・ 所有艇の利用の可否調査と破棄・譲渡の検討助言

・ 新人コーチの選任の提言(1 吉武を選任)

・ OB会役員他による合宿所視察

・ 部運営体制の課題の提言(部員数、財政、レース出漕と部運営のあり方等)

・ 財政と合宿所維持、レース出漕と練習方法のあり方

【第二期(09/05~09/08)】

・ 所有艇の利用の可否調査と破棄・譲渡の検討助言

・ 新人コーチの選任の提言(1 吉武を選任)

・ OB会役員他による合宿所視察

・ 部運営体制の課題の提言(部員数、財政、レース出漕と部運営のあり方等)

への提言

- ・ ウェイト・トレーニング指導(S44卒平野氏)
- ・ 大学選手権出漕激励会(催事委員会主催)
- ・ 破損艇の破棄と不使用艇の譲渡の提言

【第三期(09/09~09/10)】

・ 来期に向けて現役による部活動課題の抽出

・ 現役・OB会役員の合同意見交換会/部会傍聴

【今後の課題】

- ・ 現役財政改善のためのアルバイト活動の検討
- ・ 来シーズンの練習のあり方と出漕レースの検討
- ・ 合宿所移転の要否・可否の検討
- ・ 部予算の検討
- ・ 来期の部運営体制の検討
- ・ 来年度新人勧誘活動のための今期活動の反省会

【来年度活動方針】

- ・ 新人勧誘活動への支援と助言
- ・ 新人(新2年生)の部活動の指導体制フォロー
- ・ 上記の現役の課題解決への支援と助言

催事委員会

【2009年活動実績】

- ・ 相模湖乗艇会
- ・ 平成21年5月10日、有志8名相模湖にて乗艇と縁の地見学等実施
- ・ 荻野合宿
- ・ 平成21年7月24、26日、有志8名荻野にて乗艇等実施
- ・ 現役激励会
- ・ 平成21年8月9日、有志約20名戸田にてインカレに向け夏合宿中の現役激励バーベキュー実施(費用約5万円)
- ・ OBのみの催事については原則参加者負担としています。

【2009年活動予定】

- 3月 卒業祝交流会
- 4月 OB講演会
- 5月 相模湖合宿
- 6月 鶴見川レース
- 7月 荻野合宿
- 8月 現役激励会
- 9月 新人戦交流会

広報委員会

【活動実績】

- ・ 新ホームページの立ち上げ
- ・ 稲雲編集会議の開催
- ・ 紙版稲雲は2回/年発行
- ・ メールマガジンは隔月発行
- ・ メールングリストの作成
- ・ 改革委員会を対象に試験運用中

